

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)の活用状況について

事業名：矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業(令和6年度採択額 42,500千円)

1. 事業の概要

歴史ある町並みといった既存の観光資源に並ぶ新たな観光資源として、旧山陽道のまち並みが残る矢掛商店街の南に面した小田川を挟んで、国土交通省のかわまちづくり計画に登録されたエリア内に若年層の集客を狙ったアウトドアアクティビティ拠点施設を整備する。本整備施設により、町内のアウトドアアクティビティの情報発信、アクティビティ環境の整備を行うことで、新しい観光客層の獲得を目指す。また、整備を進めてきた矢掛商店街へも近接していることから、既存の観光コンテンツとの連携を図りながら、当該施設への来訪者を観光の中心地である矢掛商店街へ呼び込み、さらなる観光消費額の増加を実現する。

2. 交付金の具体的使途

【令和6年度(1年目)】

矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業における実施設計、地質調査、用地造成工事等を行う。

【令和7年度(2年目)】

矢掛町アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業における造成工事、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、エレベーター設置工事、駐車場整備工事、外構工事、Wi-Fi環境整備工事、駐車場満空表示システム整備工事及び工事監理を行う。

3. 事業の実施体制

【整備主体】

岡山県小田郡矢掛町